

保安林の種類

(1)水源かん養保安林	(2)土砂流出防備保安林
森林には、降った雨を蓄えて、徐々に河川などに流すようにする働きがあります。大雨が降っても、洪水になるのを防いだり、雨が降らない期間が続いても、川の流れが絶えないようにしてくれています。	森林内の地面を、樹木の根と落ち葉や下草が覆うことで、雨などによって表土が流されることを防いでいます。また水流によって表土が流された時に、土砂がさらに下流まで流出することを防ぎます。
(3)土砂崩壊防備保安林	(4)飛砂防備保安林
林木の根が、土や岩を繋ぎとめる物理的な力で、山崩れが起こることを防ぎます。	砂浜などから飛んでくる砂を防ぎ、隣にある田畑や住宅を守ります。海岸の砂地を森林で覆って砂が飛んでいかにないようにする場合と、樹木で飛んできた砂を遮断する場合とがあります。
(5)防風保安林	(6)水害防備保安林
風の強い地域で、樹木の幹や枝葉で障壁をつくって風に抵抗し、風のエネルギーを減殺して風速を緩和することで、被害を防ぎます。	河川が氾濫したときに、樹木が障害となって水の流れを弱め、また漂流物を堰き止めて水害の被害を軽減します。
(7)潮害防備保安林	(8)干害防備保安林
津波や高潮の勢いを樹木によって弱め、被害を防ぎます。また、海岸からの塩分を含んだ風を弱め、枝葉によって塩分を捕捉して田畑への塩害を防いでいます。	簡易水道などの、特定の水源と守り、水が涸れることを防ぎます。
(9)防雪保安林	(10)防霧保安林
樹木の幹や枝葉によって障壁をつくって、吹雪から道路などを守ります。	森林によって空気の流れを乱れさせることで、霧が移動することを防ぎ、また樹木の枝葉によって霧粒を捕捉して霧の被害を防ぎます。
(11)なだれ防止保安林	(12)落石防止保安林
森林によって雪崩の原因となる雪庇ができることを防ぎます。山腹斜面で樹木が抵抗して雪が滑り出すことを防ぎ、雪崩の発生を防止します。雪崩が発生した時には、森林が障害となって勢いを弱め、また被害の少ない方向へ誘導して被害を防ぎます。	樹木の根で岩石を繋ぎとめて固定し、崩壊を防ぎます。また発生した落石を山腹で阻止し被害を防止します。

(13)防火保安林	(14)魚つき保安林
燃えにくい樹種を配置して防火樹帯をつくって、火災のときに延焼することを防ぎます。	水面に陰をつくったり、流れ込む水の汚濁を防いだり、養分の供給などの働きで、魚の棲息と繁殖を助けます。
(15)航行目標保安林	(16)保健保安林
海岸または湖岸の付近にあって、船舶の航行の目標となる森林を保全して、安全に船舶が航行できるようにします。	森林レクリエーション等の保健、休養の場として、生活にゆとりを提供します。また、空気の清浄や騒音の緩和など生活環境の保全にも役立ちます。
(17)風致保安林	
名所や旧跡などの趣のある景色を構成する要因となっている森林を保存します。	